



青農整第 668 号
深建第 697 号
令和元年 11 月 6 日

内閣総理大臣 殿

青森県知事 三村 申吾



深浦町長 吉田 満



認定地域再生計画の評価結果について（報告）

平成 28 年 8 月 2 日付けで認定を受けた地域再生計画の評価結果について、下記のとおり報告します。

記

- 1 認定地域再生計画の名称
美しい自然豊富な西海岸地域の魅力を活かした住みよく・にぎわいのあるまちづくり計画
- 2 評価区分
中間評価
- 3 評価結果
別添評価調書のとおり

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	青森県	事業実施主体	青森県・深浦町	地域再生計画名	美しく自然豊富な西海岸地域の魅力を活かした住みよく・にぎわいのあるまちづくり計画
計画期間	平成28年度から令和2年度	評価責任者	青森県農林水産部農村整備課長・深浦町建設課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度			指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	年間観光入込客数の増加	951千人	H26	1,027千人	H30	957千人	1,046千人	R2			中間目標値を下回っているが、計画路線が完成すれば、目標は達成できるものと考えている。	
	指標 2	若年層向け住宅の整備	0棟	H26	8棟	H30	7棟	12棟	R2		3	1	中間目標値を下回っているが、建設予定があることから、目標は達成できるものと考えている。
	指標 3	夏秋トマトの年間販売額	99,915千円	H26	115,000千円	H30	117,855千円	120,000千円	R2				中間目標値を達成しており、計画路線完了時には最終目標値も達成できるものと考えている。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1												
	指標 2												
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
特別措置を適用して行う事業		西海岸2期地区（整備延長）	1,800m	0m	1,800m	当初計画に対し、路線延長から見ると進捗率はH30時点では0%となっているがR1年度に舗装工L=1015mを予定しており、必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
		北金ヶ沢28号線（整備延長）	700m	0m	700m	当初計画に対し、路線延長から見ると進捗率はH30時点では0%となっているがH30年度が着工年度となっており、H30は主に測量・設計を実施し、R1年度に用地測量及び買収と道路工L=170mを予定している。進捗は遅れ気味ではあるものの、用地等に問題が無く、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
		その他の事業	-	-	-								
計画外で独自に実施した事業		中山間地域等直接支払制度・多面的機能支払制度の活用	H30年度実績 ①中山間地域等直接支払交付金 63集落協定 延592.5ha ②多面的機能支払交付金 6活動組織 延436.29ha			町内の農地の維持及び耕作放棄地の発生防止はもとより、農業・農村の有する多面的な機能を発揮・維持を図るため、各協定集落及び活動組織による各種取組が展開されている。その成果により、町内の農地及び農業関連施設の機能が維持・長寿命化しているとともに、集落ぐるみでの農村活動の維持、担い手の確保・育成が図られている。							
		地域包括ケアシステムの推進	地域全体で高齢者の暮らしを支える、医療・介護予防・生活支援が切れ目なく提供される支援体制の構築			地域ケア会議の推進により地域課題の把握・分析・解決のための検討を行いながら、生きがい活動（通いの場）の推進や在宅医療・介護連携の推進と普及啓発、認知症施策の推進、見守り体制の整備、生活支援サポーター事業による買い物支援や除雪などの互助体制の構築など、必要な支援につなげている。							
		生産・加工・販売体制の確立	・町農水産物一次加工場を拠点とした地域6次産業化の推進 ・産直施設「海の駅みくらから まるごと市場」の整備・構築			・生産・加工・販売を地域内で取り組む「地域6次産業化」を推進する拠点としてH24年に整備した町農水産物一次加工場を中核に、ふから雪人参をはじめとする地元産の農水産物の加工・販売に取り組み、地元産農水産物の高付加価値化が進められている。 ・遊休状態であった町の施設を産直施設に改修して開業したことにより、地元産農水産物の新たな販売拠点・観光物産拠点となっているとともに、町内の買い物弱者対策としても有効な店舗となっている。							
		新規就農対策	・深浦町新規就農者連絡協議会の設立 ・農業次世代人材投資事業による新規就農者への支援			・町内の新規就農者や若手農業者によるネットワーク組織を設立し、研修や意見交換による相互の情報交換や協力体制、スキルアップにつなげている。 ・農業次世代人材投資事業の給付金により、新規就農における経済的リスクを補い、就農後の経営安定を支援している。							
	滞在型・体験型観光の創出	地域資源を活かした観光メニューの設定			「食」による観光コンテンツで滞在時間を延ばし、世界自然遺産「白神山地」や「北前船寄港地」としての日本遺産をフィールドとしたトレッキングや散策、気軽にできる木工、環境共生型ガラス細工、工芸品の製作等のきめ細かい観光メニューで「深浦ファン」づくりに努めている。								
④評価方法	西海岸地域再生協議会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
⑤中間評価の公表方法	青森県及び深浦町のホームページに掲載予定												
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した農道整備と町道整備を一体的整備を行うことにより、農作業の利便性向上、輸送時間の短縮につながるほか、南北に長い深浦町内の移動時間の短縮によって地域間のネットワークを強化され、医療機関へのアクセス時間短縮や災害時孤立集落の解消が図られ安心して暮らせる環境づくりを図ることを目的としている。 なお、現時点では数値目標に届いていないものもあるが、今後確実に目標達成できる見通しとなっているため、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。 事業量においても、広域農道の中央部に位置するトンネル工が平成30年度までに完成しており、令和元年度も含め舗装工事の着手予定となっており、着実な進捗が図られている。 事業費においては、西海岸2期地区が盛土材料の変更等による事業費の増として300,000千円の増、北金ヶ沢28号線では、擁壁工の追加及び、舗装厚の変更により38,000千円の増となるが、事業進捗には不可欠なものであると考えられる。												
⑦今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無） 令和2年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円					計画上の道路整備を行うことで、地域間のネットワークが強化され、目標は概ね達成される見込みであるが、工法の検討等により時間を要したことから事業進捗が遅れている。このため、中間評価の結果を踏まえ、計画変更や事業期間を1年延伸し令和3年度とする。							
⑧今後の方針等に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ●事業期間延長計画の変更の認定申請を予定 ●西海岸2期地区の整備事業費の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費 認定時2,917,000千円→見直し後3,217,000千円 [300,000千円増（うち交付金150,000千円）増] ●北金ヶ沢28号線の整備事業費の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費 認定時1,270,000千円→見直し後1,650,000千円 [380,000千円増（うち交付金190,000千円）増] ●全体事業費 3,044,000千円→見直し後3,382,000千円 [338,000千円増（うち交付金169,000千円）増] 												